

NO.5	団体名	鵜沼南町自主防災組織		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 災害時に備えた炊き出し訓練事業			
事業概要	自主防災組織の活動として、地震に伴ってインフラが破壊された時にガスや電気に頼らない炊き出しが出来るような態勢を準備するため、薪を用いた炊き出しが出来るように幅広い住民を対象に訓練を行う。			
事業費総額	153,521 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	炊き出し訓練食材費、炊き出し訓練消耗品費(食器・たわし・手袋・味噌漉し等)、羽釜蓋付きセット2セット、羽釜用かまど2個、鉄板2枚			

●実施内容

12/8 9:00～14:00、炊き出し訓練を実施した。

- ・市役所防災対策課から防災講座(クロスロードゲーム)
- ・薪を熱源とした炊き出し訓練(白飯、豚汁、焼き肉・焼き野菜)
- ・子供たちにはマッチで火をつける練習、包丁を使った柿の皮剥き

(訓練に先立ち、5月の地域自主防災訓練時に炊き出し訓練の練習を自主防災組織委員で実施した。)



●成果

事業を実施した結果、参加した小学生とその親及びシニア層に自主防災活動の重要性を認識してもらえたと理解している。これを連年続ければ参加した人の分だけ理解が広がっていくことになる。

また防災講座について、炊き出し訓練の参加者だけではなく子ども会全部が受講できるよう別の機会に実施した方が良い、との提言も貰えた。防災意識の浸透と広がりを目指す意識の共有が出来た事例として貴重である。

今回は事業を自主防災組織の側から発信するのみで、一般参加者は謂わば“お客様”であったが、事業の組み立ての段階から子ども会など他の組織と話し合っ進めて行く事により、さらに幅広い活動にして行ける素地が出来たと考えている。

●団体の活動目的・目標

鵜沼南町に限らず、多くの地域の自治会では形式的に自主防災組織を備えているが、実態は1年交代の自治会長や班長によって構成されており、蓄積された経験に基づいた防災活動が出来るものとはなっていない。そこで、1年交代ではなく継続して活動できる組織を設立した。災害時に慌てず実際に活動できる組織を目指すとともに、日常的に防災意識の向上を図る。